



「混搭」ー台湾陶芸の今
令和5/4/22(土) 28(金)

「混搭」—台湾陶芸の今

本展覧の展覧動機と目的、源於書寫此文化體之定位（Identity）存在於台灣當代人文社會的各方面，企圖透過台灣新世代的陶藝創作來集結出台灣當代陶藝的系譜與文化關注。

身為一個在台灣島上成長，以陶瓷為主要創作媒材的當代藝術工作者而言，面對解嚴後的後殖民文化氛圍，除了在創作中嘗試建立台灣陶瓷藝術發展的主體性，更重要的是透過論述將此探索的過程集結成台灣當代陶藝發展歷，也就是對於台灣當代陶藝中身分認同的集體性記憶連結。

台灣在每個時期的紛亂性格，累積多年且「混搭」出獨特的味道，以顛覆斷裂的操作、被操作而顯現出來。如果台灣在國際上的政治性議題沒有解決，憧憬文化母國的現象決不可能停止運轉。但是，如何將一直對負面性顛覆斷裂的能量轉換，經由較為積極且多方包容的姿態承接所有每史裡的宿命。沒有傳統即是我們的傳統，因為，當下，我們正在創造傳統，混搭成為創造新傳統的核心理念。

本展覧の動機と目的は、台湾の新世代の陶芸作品を通じて、台湾の現代陶芸の系譜と文化的関心を集めようとするもので、この文化体の位置づけ（アイデンティティ）を台湾の現代人文・社会の諸相の中に書き留めようとするものである。

台湾で育ち、陶磁器を主な制作媒体とする現代作家として、戒厳令解除後のポストコロニアル文化の雰囲気と直面して、台湾陶芸の発展の主体性を創作で構築しようとする以外に、この探求の過程を論述言説による台湾現代陶芸の発展史を作り上げ、すなわち台湾現代陶芸におけるのアイデンティティを結び集合的な記憶として集約することがより重要であろう。

各時代の台湾の混沌とした特徴は、長年にわたって蓄積され、「混搭」されて独特の風味を生み出し、破壊的で破砕的な操作と操作によって明らかにされる。国際舞台における台湾の政治問題が解決されなければ、文化的な祖国への憧れという現象が作用しなくなることはないだろう。しかし、否定的な破壊的断片化に向けられたエネルギーは、どのようにしてより肯定的で包括的な、すべての歴史の宿命を背負う身振りに転換されるのだろうか。伝統の不在は我々の伝統である。なぜなら、現時点では、我々は伝統を創造しており、「混搭」は新しい伝統の創造に中心的な役割を果たすからである。

張清淵（台湾国立台南芸術大学 応用芸術研究所 教授、所長）

穀雨の候、弊廊で初めてとなる台湾の陶芸家の皆様によるグループ展を開催いたします。本展の扇の要は、上の文章を頂いた張清淵先生であり、張先生ゆかりの年齢も居住地も異なる12名（内2名は日本在住）の作家の展覧会と相成りました。

さて、張先生に名付けて頂いた本展タイトルの「混搭」（フウエンダー）とは、台湾の歴史や文化を踏まえ、異なるデザインを組み合わせで出来た独自のスタイルという事。集まった12個の作品を拝見すると、その通り、用の器からオブジェまで多種多彩な作品で、日本の陶芸とは色も形も上がりも少し異なる雰囲気があり、独特の魅力を放っています。

私は台湾が大好きです。ご案内の通り、故宮博物院や台北101などの観光地は見応え抜群で、何処の料理も美味しく、何より現地の皆さんが親切で、不慣れな旅人としては嬉しい限りです。台北に向かう日本の航空会社の機内で、日本人のCAさんから「ニハオ」と台湾の新聞をにこやかに渡された事も懐かしい思い出です・・・（笑）。

ご多忙の折、恐縮ですが、日本語を話す出品作家の在廊もございますので、「混搭」なる「台湾陶芸の今」をご覧頂ければ嬉しいです。そして未熟な弊廊ですが、本展がさらなる台日友好の架け橋となればと願っております。

末尾になりますが、お世話になりました張清淵先生、幹事役と通訳の労をお取りいただいた鍾雯婷（ウェンティン）先生、張先生をご紹介頂いた杉浦康益先生にこの場を借りて心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

店主 安田尚史

会 期 令和5年4月22日（土）～28日（金）

会期中無休

開 廊 時 間 11:00 ～ 19:00

※ 最終日の28日（金）は17:00まで

出 品 作 家 [在廊予定日]	張清淵	チャンチンエン	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	鍾雯婷	ツォンウェンティン	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	洪淮筑	ホン ジャンジュ	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	李思樺	リスーファー	
	利庭芳	リーティンファン	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	李岱容	リダイロン	22(土) 終日、23(日) 13～17時
	林其勻	リンキムキム	
	蘇保在	スーバウザイ	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	唐瑄	タンシュエン	
	童品元	トンピンユエン	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	吳昕恬	ウシンテン	22(土) 終日、23(日) 13～17時、28(金) 13～17時
	吳孟哲	ウモンジャ	

会 場

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11

安与ビル地下2階

TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335

MAIL gallery@kakiden.com



柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram



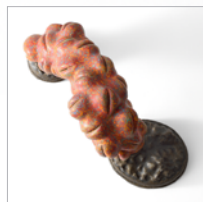
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



チャン チンユエン

張 清淵

CHANG, Ching-Yung



台湾国立台南芸術大学応用芸術研究所(大学院)教授、所長、杭州中国美術学院 客座教授
平成 22 年 第 1 回 金沢・世界工芸トリエンナーレ (日本)

第 50 回 日本現代工芸美術展 現代工芸特別賞

平成 3 年 アメリカロチェスター工科大学美術課程修士 (M. F. A.)

[審査員]

アメリカ国家陶芸教育委員会 (NCECA) 新人最優秀賞、台湾国際陶芸ビエンナーレ
韓国京畿世界陶磁ビエンナーレ、景德鎮国際陶芸ビエンナーレ

[パブリックコレクション]

台北鳳甲美術館、国立台湾美術館、台北鶯歌陶磁博物館、郭木生文教基金会
中国美術学院民芸博物館、中国山西太原美術館、日本信楽陶芸の森、日本愛知県立芸術大学、
米国ニューヨーク州立 Highland Park パブリックアート、米国ミズーリ州 Daum Museum
マレーシア国立美術館、スウェーデン国立工芸美術館、英国ヴィクトリア&アルバート博物館

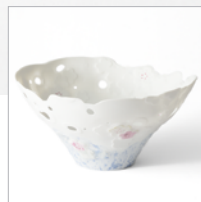
莫名石一異見 (Two Stands)
W33.6×D12.9×H18.8cm



ツォン ウェンティン

鍾 雯婷

CHUNG, Wen-Ting



平成 21 年 台北鶯歌陶磁博物館 金質奨一等賞

平成 22 年 台南芸術大学 陶磁専攻 修士修了

平成 25 年 第一回 台湾青年陶芸賞 大賞 (台湾台北)

平成 26 年 金沢卯辰山工芸工房 修了、第 70 回 金沢市工芸展 金沢市長奨励賞

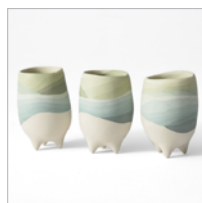
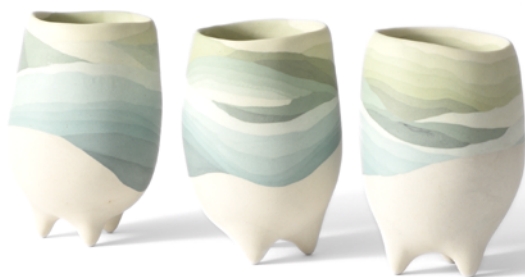
平成 28 年 台湾国際金壺賞 銅賞 (台湾台北)

平成 29 年 東京藝術大学 美術専攻 博士号、日本クラフト展 優秀賞

[パブリックコレクション]

台北鶯歌陶磁博物館、国立故宫博物院 × 全球策略投資基金、金沢卯辰山工芸工房

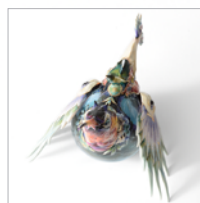
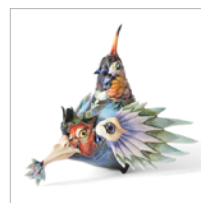
梅花雲
φ27.2×H14.0cm



ホン ジャンジュ
洪湛筑
HONG, Jhan-Jhu

平成 28 年 イギリス リーチ・ポタリー 生産部門 インターン
平成 29 年 台湾台北教育大学 芸術造形デザイン学科 卒業
令和 元年 アメリカ アーカンソー大学 滞在制作、第 4 回 台湾青年陶芸賞 大賞
令和 2 年 台湾台南芸術大学陶磁専攻修士課程 修了
令和 3 年 フランツ (FRANZ) 国際陶磁設計奨学金 入選、台湾陶芸賞 創作賞 入選
令和 4 年 日本金沢卯辰山工芸工房 入所

[上] 濠々 W21.7×D16.1×H2.7cm
[下] 山々 W4.6×D4.8×H7.7cm



リ スーファー
李思樺
LEE, Shih-Hwa

平成 21 年 台湾台北教育大学 芸術造形デザイン学科 卒業
平成 22 年 台湾国際金壺賞 入選 (台湾苗栗 當代陶芸館)
平成 24 年 第 1 回 新北市陶芸賞 入選 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
平成 26 年 台湾台南芸術大学陶磁専攻修士課程 修了
平成 27 年 第 7 回 台湾金陶獎 銅賞 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
平成 29 年 第 3 回 台湾青年陶芸賞 大賞 (台湾台北 台北当代工芸設計分館)
令和 元年 台湾陶藝獎 大賞 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)

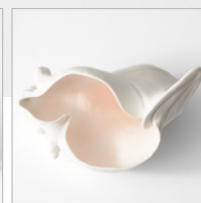
吸蜜蜂鳥 Mellisuga Helenae
W14.5×D17.4×H15.4cm



リー ティンファン
利庭芳
LEE, Ting-Fang

平成 28 年～令和元年 台湾長栄大学 助理教授
平成 30 年 「space etude」(日本滋賀県立陶芸の森)
令和 元年 青青土氣スタジオ 台湾台南に設立
「Let's Swing」(台湾台南 新營文化センター)
令和 3 年 「Temporary Existence: Transfer Me to The Other Space-time」
(台湾台北 シェラトンホテル)

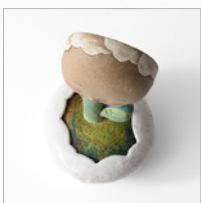
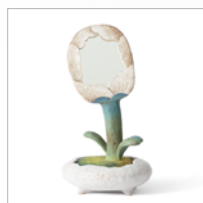
space etude
W14.8×D11.8×H25.7cm



リ ダイロン
李岱容
LEE, Dai-Rong

平成 23 年 台湾台湾芸術大学 彫刻学科 卒業
平成 24 年 台湾国際陶芸ビエンナーレ 入選
平成 27 年 台湾台南芸術大学 陶磁専攻修士課程 修了
台湾第 2 回 新北市陶芸賞 入選
平成 28 年 台湾国際陶芸ビエンナーレ 入選
平成 30 年 金沢卯辰山工芸工房 修了

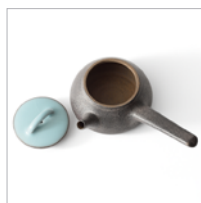
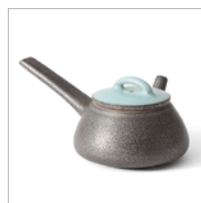
足音
W20.9×D13.2×H12.2cm



リン キムキム
林 其匀
LIN, Kimkim

平成 27 年 「第 1 回 新北市陶芸賞」 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
 「壺説八道—台湾茶器展」 (中國江西 景德鎮樂天陶社)
 平成 30 年 「非得睡上一覺」 (台湾台南 青青土氣)
 令和 2 年 「The Wind of Change—The Contemporary Ceramics of Taiwan」
 (アメリカボルチモア Baltimore Clayworks)
 令和 3 年 「resettle」 (台湾台南 青青土氣)
 令和 4 年 「Botanical Garden 花園日常」 (台湾台北 靜處)

落葉後の故事 When the withered nourishes
 W11.2×D10.1×H21.4cm



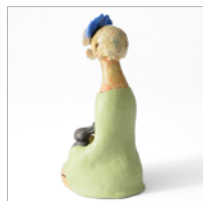
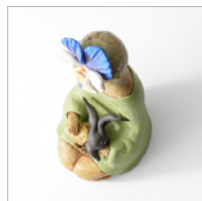
スー パウザイ
蘇 保在
SU, Bau-Tsai

平成 4 年 台湾中国文化大学 美術学科 卒業
 平成 12 年 台湾台南芸術大学 陶磁専攻修士課程
 平成 19 年~平成 20 年 「茶顔：台湾。茶具。茶風景」 (ヨーロッパ巡迴)
 平成 23 年 「青韻流動—東アジア青磁特別展」 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
 「成都ビエンナーレ」 (中国四川)
 令和 4 年 「台湾国際陶芸ビエンナーレ」 (台湾新北 鶯歌陶磁博物館)

Inkisto Teapot
 W15.8×D10.6×H7.0cm



タン シュエン
唐瑄
TANG, Hsuan



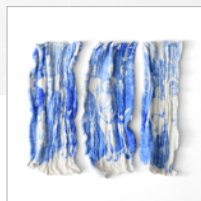
平成 21 年 台湾台南芸術大学 陶磁専攻修士課程 修了
平成 28 年 日本滋賀県立陶芸の森 滞在制作
令和 元年 韓国金海美術館 大型陶芸ワークショップ 招聘作家
令和 元年～令和 4 年 台湾児童陶芸賞 審査員
令和 2 年 「The Wind of Change—The Contemporary Ceramics of Taiwan」
(アメリカボルチモア Baltimore Clayworks)
令和 3 年 「偶然人間」(台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
令和 3 年～令和 5 年 台湾台湾芸術大学 工芸デザイン学科 非常勤講師
台湾国立台湾師範大学 美術学科 非常勤講師
令和 4 年 「台湾現代陶芸交流展」(中国江西 景德镇陶瓷大学)

春暁

W10.2×D11.4×H24.1cm



トン ピンユエン
童品元
TUNG, Pin-Yuan



平成 30 年 台湾台南芸術大学 材質創作デザイン学科 卒業
令和 元年 第 4 回 台湾青年陶芸賞 大賞
令和 3 年 台湾台南芸術大学 陶磁専攻修士課程 修了
「磁器の精神 The spirit of ceramics—中国景德镇国際陶芸ビエンナーレ」
(中国江西 陶溪川美術館)
景德镇国際陶芸ビエンナーレ 入選
台湾陶芸賞 入選
令和 4 年 「台湾陶芸賞」(台湾新北 鶯歌陶磁博物館)
「情緒加速器」(台湾台北 市長邸アートサロン)

殘存的遺影

W28.7×D14.1×H5.8cm



ウ シンティエン
吳 昕恬
WU, Hsin-Tien

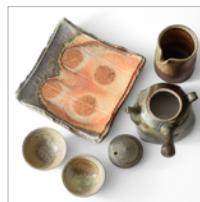
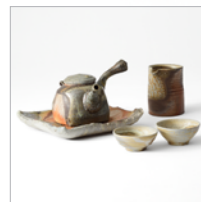


平成 29 年 台湾台北教育大学 芸術造形デザイン学科 卒業
「吳昕恬 陶芸創作展」(台湾台北 金車文芸センター)
令和 元年 アメリカ アーカンソー大学 滞在制作
「Révelations—工芸芸術ビエンナーレ」(フランスパリ グラン・パレ)
令和 2 年 「洞見 吳昕恬インパーフェクト個展」(台湾台南 醉美空間)
令和 3 年 台湾台南芸術大学陶磁専攻修士課程 修了
令和 4 年 アジア現代陶芸交流展学術研究会 台湾の若手アーティスト講演者

如實
W17.2×D22.2×H16.2cm



ウ モンジャー
吳 孟哲
WU, Meng-Che



平成 29 年 アメリカアラバマ州 モンテパロ大学 滞在制作
平成 30 年 アメリカイリノイ州 Simon Levin Studio アシスタント
令和 元年 「吳孟哲柴焼 in」(台湾台南 佐佐目アートワークスタジオ)
令和 2 年 台湾台南芸術大学 陶磁専攻修士課程 修了
「饗宴の器」(台湾台南 實森工房)
令和 3 年 「聚—台湾日本新焼交流展 A Meeting of the Masters」(台湾新北 鶯歌富貴館)

[左上] 茶壺 W14.4×D12.8×H11.3cm
[同下] 茶盤 W18.9×D19.0×H3.2cm
[右] 茶海 W8.2×D7.5×H10.3cm
[下] 茶杯 各 φ8.0×H3.2cm



160-0022

東京都新宿区

柿谷ギャラリー
KAKIYAZA GALLERY

新宿3-37-11

「混搭」—台湾陶芸の今 価格表

	作家名 作品名		本体価格/円 (税込価格/円)	作品サイズ (cm)
1	張 清淵 莫名石一異見 (Two Stands)	P4	810,000 (891,000)	W336× D 129× H 188 [箱無し]
2	鍾 雯婷 梅花雲	P5	180,000 (198,000)	φ 272× H 140 [箱無し]
3	洪 滄筑 [上] 濛々 [下] 山々	P6	30,000 (33,000) 25,000 (27,500)	W217× D 161× H 27 [箱無し] W46× D 48× H 7.7 [箱無し]
4	李 思樺 吸蜜蜂鳥 Mellisuga Helenae	P7	180,000 (198,000)	W145× D 174× H 154 [箱無し]
5	利 庭芳 space etude	P8	90,000 (99,000)	W148× D 118× H 25.7 [箱無し]
6	李 岱容 足音	P9	99,000 (108,900)	W209× D 132× H 122 [箱無し]
7	林 其勻 落葉後の故事 When the withered nourishes	P10	117,000 (128,700)	W112× D 101× H 21.4 [箱無し]
8	蘇 保在 Inkist。 Teapot	P11	248,000 (272,800)	W158× D 106× H 7.0 [桐箱付・後日]
9	唐 瑄 春曉	P12	90,000 (99,000)	W102× D 114× H 24.1 [箱無し]
10	童 品元 殘存の遺影	P13	36,000 (39,600)	W287× D 141× H 5.8 [箱無し]
11	吳 昕恬 如實	P14	220,000 (242,000)	W172× D 222× H 16.2 [箱無し]
12	吳 孟哲 [左上] 茶壺 [同下] 茶盤 [右] 茶海 [下] 茶杯	P15	39,000 (42,900) 16,000 (17,600) 9,000 (9,900) 6,000 (6,600)	W144× D 128× H 11.3 [箱無し] W189× D 190× H 3.2 [箱無し] W82× D 7.5× H 10.3 [箱無し] φ 80× H 3.2 [箱無し]